

川崎市議会議員

本間 賢次郎

市政レポート No. 14 (平成 31 年 2 月号)

事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島 3-14-17
TEL044-742-8072 FAX044-211-1081

ごあいさつ



今季は雨量が少なく、空気の乾燥した日々が続いています。火災の発生しやすい気象条件ですので火の元には十分に注意が必要です。また、インフルエンザも猛威を振るい、患者数も年明け以降に急増していますので、室内の保湿、手洗い、うがいを徹底するなど、感染予防に努めましょう。

川崎市議会は、今年の第1回定例会が2月12日に開会。新年度予算案の審査を行うため、予算議会とも呼ばれます。本市の更なる成長と発展、市民生活の一層の向上に向けて、全身全霊を傾けて臨んで参ります。

平成 31 年第 1 回定例会に向けて

新年度の予算審査を行う第1回定例会は2月12日から3月15日までの会期予定です。各委員会での審議はもちろんのこと、3月に予定される予算審査特別委員会を通じて議論を重ねて参ります。

今年10月に想定される消費増税による影響やその対応は予算議会の大きなポイントとなります。これについては、昨年の議会でも取り上げ、行政の見解を伺ってきましたが、いよいよ具体的な内容が審議されます。消費税率の引き上げの影響は多岐に渡るため、今議会は例年以上にボリューム感のある議会となって参ります。

また、今上天皇のご退位、新天皇のご即位に伴い、4月末からの連休は10連休となります。この連休期間中の公共施設等について、**本間賢次郎**が行った昨年の第4回定例会の代表質問に対し、「事業所管局や施設管理

者において、川崎市の休日を定める条例の規定等を踏まえ検討する」との答弁がありました。そうした中、最近は報道にもあるように連休中の医療機関の体制に不安を感じる方々は多く、本市の市立病院の体制についてのご意見が私の下に寄せられています。国は10連休の患者受け入れ態勢について全国の状況を調査する方針を示しており、本市も対応を確認し、市民への周知徹底を図らなくてはなりません。



↑平成30年第4回定例会にて代表質問を行う本間賢次郎（平成30年12月5日）

メモリアル・一大事業の続く「かわさき」

先述のとおり、5月からは新たな元号となり、まさに新たな時代を迎えます。そして、来年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックの年です。本市はメイン会場の隣接都市であるとともに、イギリスの代表チームの事前キャンプ地であり、東京2020大会は本市の活性化に向けても重要な機会です。イギリスの選手団の受け入れ態勢を整え、観戦等に訪れる外国人観光客への対応等についての準備、観光施策の充実も急務です。

また、2022年には川崎区制50周年、2023年は東海道川崎宿起立400周年、そして、2024年は川崎市政100周年と、私たちの町は大きな節目を次々と迎えます。新元号という国全体が新しい時代に入るとともに、ふるさとも新しい時代の扉を開くこととなります。メモリアルが続くことは喜ばしいことですが、今後の取り組みを展開するにはこの歴史的節目を捉えた確たる理念が大切です。ふるさとの礎を築き、第二次世界大戦後の復興、さまざまな困難を乗り越えて今日の「かわさき」の成長・発展のためにご尽力された方々に感謝と敬意の念を持ち、そして、次の時代へと想いを繋ぐ、新しい時代を創る意志の下で取り組まなくてはなりません。

毎年のように続く一大事業に向け、市民、行政、企業が一体となれる体制作りについても、今年は重要な一年になると考えて議会に臨みます。